

大型音楽フェスを育てたプロデューサーが登場
文京学院大学 経営学部主催トークイベント
音楽フェス×経営学：人・空間・時間を編成するビジネスプロデュース
実施日：2026年7月11日（土）

文京学院大学（学長：福井勉）は、経営学部主催のトークイベントシリーズ『ビジネス×コンテンツ＝未来をプロデュースせよ』の第三弾として、「音楽フェス×経営学：人・空間・時間を編成するビジネスプロデュース」を2026年7月11日（土）に開催します。

本イベントでは、日本有数の音楽フェス「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER」の総合プロデューサーとして同フェスを成長させた石田美佐緒氏を招き、イベントビジネスの設計・運営・収益化の仕組みを経営学の視点から読み解きます。司会には、エンタメ・デジタル領域に深く精通するアナウンサーの吉田尚記氏が登壇。音楽・エンタテインメント業界志望の学生はもちろん、イベント運営、マーケティング、ビジネスプロデュースに興味のある全ての方に、最前線の知見をお届けする必見のイベントです。

■ トークイベント開催の背景と見どころ

本学経営学部では、「経営学部でコンテンツプロデュースを学ぶ」を大テーマに、第1弾は「アニメ」、第2弾は「映画」など多様なコンテンツ業界の第一線で活躍する実務家を招き、制作現場のリアルとビジネスの論理を交差させる鼎談をシリーズ化しています。

第3弾となる今回は、石田美佐緒氏をお招きして開催します。石田氏は、2007年に「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER」を日比谷野外音楽堂から山中湖畔へと移設し、累計約100万人以上を動員する日本を代表する夏フェスへと育て上げたプロデューサー。フジテレビ系ドキュメントバラエティ「セブンルール」で特集されるなど、業界内外から注目を集める存在です。石田氏はプロデュースの本質をこう語ります。「最初から計算されたことではなくて、アーティストと一緒に目標やストーリーを作って、一緒に頑張っていく」——この言葉は、ビジネスにおけるチームビルディングやブランド戦略とも深く響き合います。

今回は、数万人規模の動員を記録する現代の音楽フェスを、「人・空間・時間」を統合的に編成するマネジメントの結晶として捉えます。「どのように人を動かし、熱狂を生む空間を設計し、タイムラインを編成しているのか」「継続的に支持され、ブランド化するフェスは何が異なるのか」など、創造性と経営戦略が交差する最前線の構造と、プロデュースの本質に迫ります。

■ 「音楽フェス×経営学：人・空間・時間を編成するビジネスプロデュース」概要

日時：2026年7月11日（土）11時50分～12時40分（開場11時20分）
場所：文京学院大学 本郷キャンパス S館5階 コンソナホール
登壇者：石田 美佐緒氏（株）スペースシャワーネットワークコーポレートエグゼクティブ、（株）SKIYAKI 取締役
高橋 円香 准教授（文京学院大学経営学部）
司会：吉田 尚記氏（アナウンサー）
対象：一般の方・中学生・高校生・大学生
定員：先着200名
参加費：無料
申込期間：2026年6月18日（水）～7月3日（金）
URL：https://www.bgu.ac.jp/business_contents/
申込URL：<https://x.gd/LMXH5>



昨年開催した第2回トークイベントの様子

■出演者プロフィール

石田 美佐緒 氏

(株) スペースシャワーネットワークコーポレートエグゼクティブ、(株) SKIYAKI 取締役。(株) H. I. P.、FM AMERICA (株) 勤務などを経て(株) スペースシャワーネットワーク入社。

様々な音楽事業に関わる中、音楽フェス「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER」総合プロデューサーとして日本有数のフェスに育てる。

その後、執行役員・スペースシャワーTV 事業本部長、(株) MASH A&R 代表取締役社長(兼任)、上席執行役員、アーティストプロデュース事業本部長就任などを歴任し現職。



高橋 円香 准教授 (文京学院大学経営学部)

文京学院大学経営学部准教授。博士(商学)。明治大学大学院商学研究科博士後期課程修了。専門は財務会計・会計理論・企業経営分析・簿記教育。企業活動を支える基盤としての会計に着目し、その社会的意義と組織・経営との関係を研究。数字の裏側にある意思決定や価値創出の構造を捉えることに関心を持つ。

著書に『企業簿記論』(創成社、共著)、『内部留保の研究』(唯学書房、分担執筆)、『現代日本の多国籍企業』(新日本出版社、分担執筆)がある。



■司会プロフィール

吉田 尚記 氏

慶應義塾大学文学部卒業。ニッポン放送アナウンサーを経て、現在はアナウンサー。2012年第49回「ギャラクシー賞 DJ パーソナリティ賞」受賞。ラジオのレギュラー番組のほか、テレビ番組やイベントでの司会進行などで年間200本ほど出演。特に、マンガ、アニメ、アイドル、デジタル関係に精通し、「マンガ大賞」発起人でもある。2019年には、いち早くVtuberとしての活動をスタート。バーチャルアナウンサー「一翔剣(いっしょう・けん)」としてVRイベントの司会を多く務めるだけでなく、VRのビジネスとしての側面についての知見も持ち、アナウンサーという肩書を越境した活動を続けている。東京大学大学院在学中。

